

移動解体を行うための技術的検討について（案）

1. 対象となる焼却炉について

(1) 焼却炉の大きさ等

大型貨物自動車等に積み込めるぐらいの大きさ、重量か。形状は適しているか。

(2) 処理能力等

火床面積が 2 sqm を超え、又は焼却能力が 200 kg/hr を超えるか。

→法第 88 条第 4 項の届出

(3) 状態

底盤はあるか。煙突は一体か、連結されているか。老朽化していないか。

→作業手順、吊り上げ時の飛灰飛散防止措置に影響

2. 作業方法について

(1) 飛灰飛散防止のための事前養生

仮囲いの仕方、焼却炉の養生手順、煙突の取り外し、切断

(2) 焼却炉の吊り上げ

飛散防止措置、落下事時の対応

(3) 運搬

特別管理物質の公道における輸送は、廃掃法によること。

残留部品等の積残しの有無

3. 中間処理場での付着物除去作業

(1) 搬入手順、経路

(2) 作業環境における空気中のダイオキシン類の濃度測定

(3) 除去作業

(4) 飛散防止措置

(5) 請負関係の留意事項

4. その他

(1) 施設管理者と解体工事事業者との関係（残留灰の処理を含む）

(2) 解体工事が完了したことの確認